

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題

▶ 池田所長（写真右）と椎木町長が協定書を取り交わしました。



災害時における情報交換に関する協定に調印しました

3月1日、大島庁舎において「災害時の情報交換に関する協定」の調印式が行われました。

調印式では国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所の池田所長と、椎木町長が協定書を取り交わしました。災害支援では初動段階での情報収集が極めて重要であるとされており、今回の締結により、大規模な災害が発生した場合、リエゾン（災害対策現地情報連絡員）と呼ばれる、国土交通省の職員が町へ派遣され、町と国との情報交換が緊密に行われることにより、国から町への支援が迅速かつ円滑に実施されます。



▲調印の様子

川上SS（宇部市）が優勝



3月29日から31日までの3日間、第16回サザン・セト大島少年サッカー大会が開催されました。今年から8人制となった大会の決勝戦は県同士の対決で、川上SS（宇部市）と山口SS（山口市）が対戦。9対0で川上SSが第2回目の大会以来の2回目の優勝を飾りました。

▶ 椎木町長へ義援金を手渡す、写真右から学生会長川下正剛さん、学生副会長吉武廣太郎さん、坂本祐三さん。



義援金を被災地へ

3月1日、大島商船高等専門学校の学生会が東日本震災の義援金を町へ届けました。学生会では震災に対して自分たちで何かできることはないかと考え、募金活動を始めました。

今回届けられた義援金は昨年11月3日に開催された商船祭での模擬店の売上の一部、12万2118円。学生会長の川下正剛さんは「引き続き募金活動を続けていきたい」と抱負を語りました。